

広報

# ただみ

12  
2017 月号  
No. 571  
平成29年12月10日



## 今月の表紙

今月の表紙は、11月3日「第47回只見町文化祭」の民話茶屋コーナーで、朝日小学校2年生5名の児童が只見町に伝わる昔ばなしを披露している模様です。

「さばうりのむかし」や「びっきとふくろう」という昔ばなしが披露された他、「七つの子(カラスなぜ鳴くの〜♪)」の歌詞を只見弁にした歌を発表し、満員となった会場からは大きな拍手が送られていました。

(関連記事:P4~5)

### <特集>

- 自然首都・只見アウトドア拠点整備事業 ..... 2~3
- 第47回只見町文化祭 ..... 4~5
- 上半期財政状況/ふくしま駅伝 ..... 6~7

### <News&flash>

- 学校給食で「教育委員会教育長賞」受賞 ほか ..... 8~9

### <町の話題>

- 3地区の保育所でおゆうぎかい ほか ..... 10~11



# 自然首都・只見アウトドア拠点整備事業

# 只見を世界中の人々が訪れる「アウトドアフィールド」へ

## ～只見アウトドア観光の ベースキャンプ拠点へ～

多くの客層を取り込む  
ベースづくり

- キャンプ愛好家
- 町内キャンパー
- 町外キャンパー (関東・新潟)
- 訪日キャンパー (韓国・台湾)
- 非キャンプ愛好家
- 関東圏、新潟県
- インバウンド旅行者



旅行村のハード整備を行い只見湖右岸、田子倉湖は体験プログラムなどソフトの充実を図る。



▲旅行村・テニスコート



▲旅行村・管理棟

### ― 自然首都・只見

#### アウトドア拠点構想

JR只見線の鉄路復旧や国道289号の全線開通を数年後に控え、只見町を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。

交通網の整備により、これまでの「人」の流れに加えて、新潟空港からの外国人旅行者(インバウンド)など、新潟方面からの新しい流れが生まれようとしています。この変化を見据え、只見町では「青少年旅行村」を来年度(平成30年度)にリニューアルし、田子倉湖や只見湖などを含めたアウトドア観光の推進を計画しています。

これは、新潟県三条市の世界的アウトドアメーカー「株式会社ピーク」と連携し、只見ユネスコエコパークの豊かな自然

然・文化を観光誘客に活かし、

交流人口の拡大に向けて地域づくりを進めるもので、スノーピークのブランド力と自然首都・只見の魅力を掛け合わせた「新しいアウトドア観光」を創出していくものです。

#### ― これまでの取組と

#### 今後の計画

アウトドア拠点整備事業は、昨年度に青少年旅行村を中心に、只見町が誇る自然資源を活用したアウトドアコンテントとの連動を図る基本構想を策定しました。今年度は基本計画を策定し、来年度リニューアルを予定している旅行村の改修計画や只見湖、田子倉湖の活用方法について検討しています。

今年5月には、只見町と東北財務局福島財務事務所と



▲上／6月、田子倉湖でモーターボート体験  
中／9月、田子倉湖でカヌー体験  
下／テントで実施したワークショップ



▲改修により交流空間を設ける予定の旅行村管理棟内（写真イメージ）



▲自然の中、手づくりの結婚式が行われたアウトドアウェディング。  
旅行村では初の結婚式となった

の共催により、地域経済活性化フォーラムを開催し、町内企業や近隣の金融機関、地方公共団体が集まり、アウトドア観光の推進による交流人口拡大に向けての意見交換や（株）スノーピーク山井社長による基調講演を行いました。

また、6月にはアウトドア有識者やJTBなど旅行関係者によるモニタリングキャンプを行い、旅行村や田子倉湖などを視察しました。それぞれのアピールポイントや活用方法などについて意見交換を行ない、参加者からは「只見町が優れたアウトドアフィールドである」という意見が多く出されました。

9月にも一般参加者や台湾、韓国旅行関係者参加のモニタリングツアーを実施し、旅行村をベースキャンプ地として、田子倉湖でのカヌー体験や旅行村の古民家で郷土料理を体験し、各参加者の目線から感じたことを計画づくりに反映させています。

10月にはモニタリングキャン

プに参加された東京の方が只見の自然に魅了され、「アウトドアウェディング」として、野外での結婚式を挙げられました。

来年度、計画されている旅行村のリニューアルは、東バンガローの改修や管理棟の内装改修をはじめ、古民家、西バンガローなど既存施設の改修に加え、テニスコートを芝生張りのイベント広場に改修するなど、さらなる町民の利用や、キャンプをはじめとする観光客の交流拠点として、整備を進める予定です。

#### ―最後に―

自然首都・只見を宣言し、ユネスコエコパークとして登録された豊かな自然や地域の特徴を活かし、交流人口拡大、移住・定住促進、そして只見を世界中の人々が訪れるアウトドアフィールドにすることを目指し、魅力ある地域づくりを進めていきます。

# 新たな生涯学習の発信！ 「第47回只見町文化祭」開催



▲開館式でテープカットを行う菅家町長（中右）、齋藤邦夫議長（中左）、飯塚恒夫文化協会長（右）、角田行雄教育委員長（左）



▲生涯学習事業の取り組みを紹介したメインコーナー



▲「私たちの自慢のごはんコンテスト」入賞者の皆さん

11月3～4日、只見町文化祭実行委員会が主催する「第47回只見町文化祭」が今年4月に新築となった只見振興センターを会場に開催され、2日間で約2000名が来場しました。

## — 私たちの自慢の

### 「ごはんコンテスト表彰」

開館式では、町主催の「私たちの自慢のごはんコンテスト」の表彰式が行われ、町内の小学生の入賞者14名のうち、9名の方が出席し、菅家町長などから賞状を受け取りました。入賞者の作品は文化祭の「健康づくりコーナー」で紹介されました。また、同コーナーには、県主催の「ふくしまっ子ごはんコンテスト」小学生学年の部で最優秀賞に輝いた大東咲来さんの作品も並びました。

## — メインコーナー —

今年の文化祭は「新たな生涯学習の発信」をテーマに、メインコーナーでは「英語でミュージカル」、「ドローン体験」、「ジャズ体験」などの教育委員会が推進する生涯学習事業が紹介されました。また、同コーナーでは国際品評会のひとつ、イギリスの



▲大人気だった只見線コーナー



▲朝日小学生2年生と昔ばなしを語る会の皆さんが「昔ばなし」を披露した民話茶屋



▲ダルマやヨーヨーなどの絵付け体験をする子どもたち



▲人材育成第8期生「チャレンジふるさとクッキング」による笹巻き体験



▲生涯学習の取り組みにより誕生した「ねっか」を紹介する馬場由人さん



▲つる細工体験でくまのストラップを作った参加者の皆さん



▲おいしいお茶の点て方を披露した喜楽会と高校生の皆さん



▲守備やバッティングなどの技術指導のほか野球の楽しさを学んだ野球教室

「IWSC2017」で銀賞に輝いた米焼酎「ねっか」を製造する「合同会社ねっか」の、生涯学習から始まった起業までの取り組みなどが紹介されました。

— 多彩な取組みを  
紹介した各コーナー —

会場では、「絵画・書・俳句・短歌」などの作品展示のほか、只見高校のPRコーナー、JR只見線応援コーナーなどが設けられたほか、つる細工やビーズ細工の体験コーナーも人気を集めました。また、人材育成第8期生による「アレンジ郷土料理」の発表、そして朝日小学校2年生5名と昔ばなしを語る会の皆さんによる「昔ばなし・民話茶屋」が行われました。

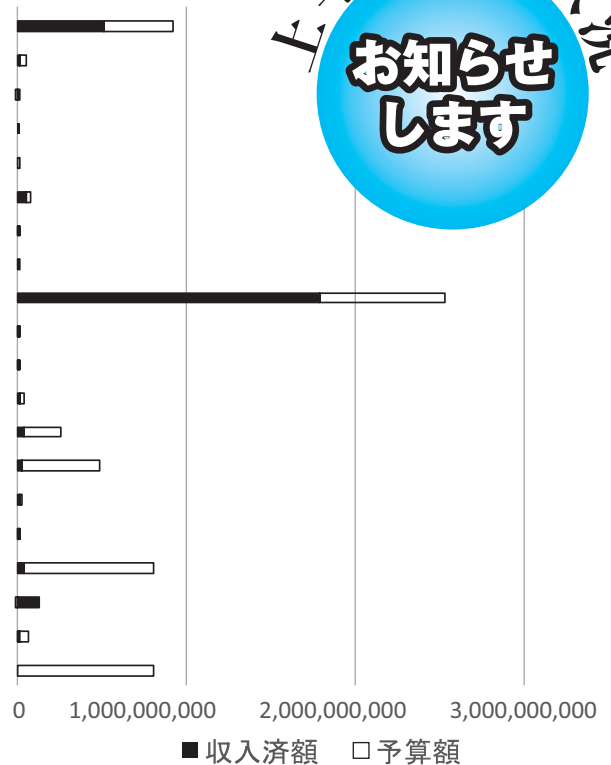
別会場の町下野球場では、宮城県東北高校で甲子園に出場し、現在は指導者として活躍されている早坂貴光さんと福田正文さんによる「野球教室」が開かれ、只見小学校体育館では「カラーリング」という室内カーリング体験が実施され、多くの参加者で賑わいました。

# 上半期財政状況 お知らせ します

## ◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

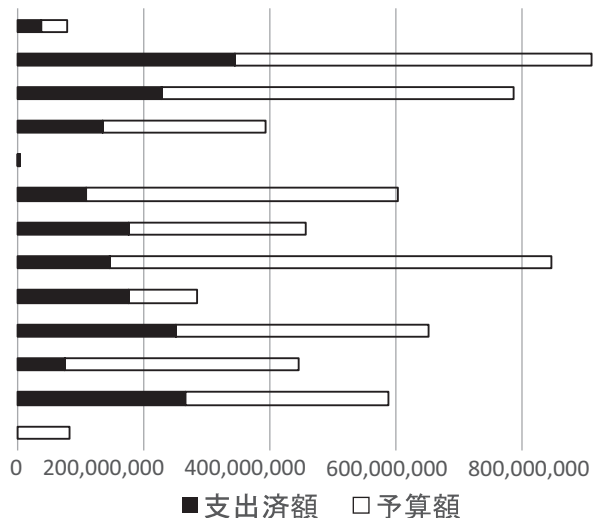
款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	887,915,000	491,885,680	55.40
2	地方譲与税	55,000,000	18,114,000	32.93
3	利子割交付金	200,000	212,000	106.00
4	配当割交付金	400,000	225,000	56.25
5	株式等譲渡所得割交付金	200,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	73,000,000	44,296,000	60.68
7	自動車取得税交付金	10,000,000	5,472,000	54.72
8	地方特例交付金	938,000	938,000	100.00
9	地方交付税	2,434,071,000	1,722,860,000	70.78
10	交通安全対策特別交付金	700,000	394,000	56.29
11	分担金及び負担金	14,290,000	5,498,910	38.48
12	使用料及び手数料	35,551,000	17,922,781	50.41
13	国庫支出金	240,277,000	38,315,278	15.95
14	県支出金	466,343,000	23,379,248	5.01
15	財産収入	22,503,000	11,008,831	48.92
16	寄附金	8,001,000	1,673,091	20.91
17	繰入金	771,219,000	33,000,000	4.28
18	繰越金	125,214,000	125,214,539	100.00
19	諸収入	59,686,000	3,938,704	6.60
20	町 債	768,300,000	0	0.00
	合 計	5,973,808,000	2,544,348,062	42.59



## ◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	支出率
1	議 会 費	75,714,000	37,084,122	48.98
2	総 務 費	888,355,000	334,236,001	37.62
3	民 生 費	766,051,000	222,400,267	29.03
4	衛 生 費	383,898,000	132,876,455	34.61
5	労 働 費	2,513,000	408,800	16.27
6	農 林 水 産 業 費	587,459,000	106,757,813	18.17
7	商 工 費	446,013,000	172,441,914	38.66
8	土 木 費	825,362,000	142,729,261	17.29
9	消 防 費	278,233,000	171,591,440	61.67
10	教 育 費	634,127,000	244,275,743	38.52
11	災 害 復 旧 費	432,559,000	71,681,536	16.57
12	公 債 費	571,391,000	257,480,867	45.06
13	予 備 費	82,133,000	0	0.00
	合 計	5,973,808,000	1,893,964,219	31.70



## ◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
1 国民健康保険事業	588,961,000	202,963,945	34.46	243,036,488	41.27	
2 国民健康保険施設	467,924,000	95,412,414	20.39	179,169,734	38.29	
3 後期高齢者医療	135,128,000	19,006,285	14.07	54,325,459	40.20	
4 介護保険事業	739,139,000	331,017,942	44.78	290,971,794	39.37	
5 介護老人保健施設	262,000,000	74,254,681	28.34	137,848,636	52.61	
6 地域包括支援センター	10,200,000	1,233,100	12.09	4,813,579	47.19	
7 簡易水道	263,144,000	28,415,098	10.80	77,818,272	29.57	
8 観光施設事業	44,000,000	0	0.00	12,002,123	27.28	
9 交流施設	63,657,000	0	0.00	34,253,611	53.81	
10 集落排水事業	304,000,000	45,335,821	14.91	133,753,467	44.00	
11 朝日財産区	14,400,000	14,327,537	99.50	117,500	0.82	
	合 計	2,892,553,000	811,966,823	28.07	1,168,110,663	40.38

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成29年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

# 第29回市町村対抗縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」 只見町チーム「総合順位39位」!



▲大会に参加した選手の皆さんとチームを支えた関係者の皆さん

第29回市町村対抗縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」は11月19日、白河総合運動公園陸上競技場をスタートし、福島県庁前をゴールする全16区間、94・8キロで繰り広げられ、只見町チームが全16区間を駆け抜けました。

今年の只見町チームは中高生が主体の若いチームで、9月から持久力とスピードの双方を磨く練習を重ねてきました。目黒公二監督は「5時間40分台を目標タイムに掲げ、昨年の順位(5時間53分27秒、総合42位、町の部22位)を上回る総合30位台を狙いました。」

大会では、田村高校の菅家空、尚真兄弟(黒谷出身)がチームをけん引し、日々の練習で力を付けた選手全員が素晴らしい走りを披露し、5時間47分08秒と昨年を大きく上回る結果を残し「総合39位、町の部18位」という好成绩を収めました。キャプテンの矢沢裕也さんは、「チーム全員が町の代表として、走りぬくことができた。来年は更なる上を目指して頑張りたいです」と話しました。

今大会の只見町チームの結果は以下のとおりです。

只見町チーム 成績表(総合39位、町の部18位)

区間	氏名	所属	タイム	区間	氏名	所属	タイム
1区 (4.0km)	星 佑奈	只見中2年	15分53秒	9区 (3.0km)	鈴木 来菜	只見中1年	12分37秒
2区 (8.2km)	菅家 空	田村高2年	26分31秒	10区 (9.3km)	菅家 尚真	田村高1年	31分51秒
3区 (5.8km)	矢沢 裕也	只見町役場	21分42秒	11区 (3.9km)	三瓶日麻莉	只見中2年	16分03秒
4区 (7.3km)	五十嵐彪斗	南会津高1年	27分46秒	12区 (7.0km)	鈴木 道也	南会津高3年	24分20秒
5区 (6.4km)	大久保 翼	只見高2年	23分26秒	13区 (4.8km)	角田 祐介	只見町役場	18分15秒
6区 (8.3km)	関 雄太	只見高教員	30分09秒	14区 (5.7km)	大束 一臣	只見ホーム	21分13秒
7区 (5.2km)	吉津 隼馬	只見中3年	19分15秒	15区 (3.4km)	目黒 楓華	只見中3年	13分22秒
8区 (4.1km)	菅野 慧汰	只見中1年	15分22秒	16区 (8.4km)	鈴木 遥大	只見高3年	29分23秒

### 只見町教育委員会が学校給食で

## 「県教育委員会教育長賞」受賞

10月30日、(公財)福島県学校給食会が主催する「平成29年度学校給食優良団体・功労者表彰式」が福島市内で開かれ、只見町教育委員会が「福島県教育委員会教育長賞(県産食材活用部門)」を受賞しました。

この表彰は、学校給食の内容が優良で、他の模範となる団体などに対してその功績を讃えるもので、只見町は地元産の食材を積極的に取り入れていることが評価されました。

今後も町給食センターでは、地元産の食材を活用し、細心の注意と丁寧な調理を心がけながら、美味しい給食を提供していきます。



▲受賞を喜ぶ給食センタースタッフの皆さん

### 郡音楽祭「金賞」で県大会へ!

## 只見中学校が菅家町長へ表彰報告

11月1日、第71回南会津小中学校音楽祭で「金賞」に輝き、県大会に出場した只見中学校特設合唱部の3年生4名と今井仁校長先生などが役場を訪れ、菅家町長に表彰の報告を行いました。報告では、合唱部の横山茜部長が「郡大会では金賞に入ることができて良かったです。県大会はレベルが高く良い勉強になりました」と話し、菅家町長は「皆さんの活躍大変うれしく思います」と述べました。

3年生の部員は、ラストステージとなる11月8日の「小中学校音楽祭」で、地域の方々に「金賞」に輝いた曲を披露しました。



▲菅家町長、橋本副町長、齋藤教育長へ表彰報告をした只見中学校の皆さん

### 只見町の地方創生を考える

## 片山善博氏「文化講演会」開催

11月4日、町文化祭事業の一環として「文化講演会」が朝日振興センターで開かれ、約80名が来場しました。

講師には、総務大臣や鳥取県知事などを歴任された片山善博氏を迎え、「ただみからはじめる!地方創生」をテーマに講演されました。講演では、「地方創生の効果を生み出すには地域の実態にあった対策を行うことが重要。そのためには、国の政策も地域の状況に合致するものを選び、自分たちで適合させていくことが必要」と話され、町の進むべき方向性を考える機会となりました。



▲地方創生の方向性を話す片山善博氏

### 火の用心を呼びかける

## 秋の防火パレードを実施

11月9日、只見町消防団や南会津広域消防署只見出張所などの方々による「秋の防火パレード」が行われました。これは、11月9〜15日までの秋季全国火災予防運動の一環として実施したもので、町内を廻りながら火災予防の広報活動を行いました。

防火パレードの途中では只見保育所を訪れ、五十嵐隆二只見出張所長と五十嵐あけみ婦人消防隊長が子どもたちに「火の用心」を呼びかけ、目黒邦友消防団長の号令により、子どもたちと消防団が「別れ」の礼式を行いました。子どもたちは「火の用心」の大切さを学びました。



▲子どもたちに風船を手渡す五十嵐所長



美しい歌声と迫力の演奏を披露  
第55回只見町小中学校音楽祭

美しい歌声と迫力の演奏を披露



▲美しい歌声で会場を魅了した只見中学校特設合唱部の皆さん

11月8日、「第55回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で行われ、保護者や地域住民など多くの方々が来場しました。音楽祭では、各小学校の児童2〜4年生（明和小は3〜4年生）が合奏と合唱を披露し、只見中学校はのぞみ学級、特設合唱部、全校生の順に合唱を発表しました。今回、只見中の特設合唱部は、第71回南会津小中学校音楽祭で「金賞」に輝いた曲を披露し、その素晴らしい歌声で来場者を魅了しました。

閉会式では、小学生から「僕も只見中の合唱部に入りたい」との感想が聞かれました。

明和小学校で防災教育を推進  
「放射線・防災教育フォーラム」

明和小学校で防災教育を推進



▲新潟・福島豪雨の災害を中心に、これまで学んだことを発表する菊地結雅くん

11月15日、県が主催する「放射線・防災教育フォーラム」が三春町で開催され、明和小学校5、6年生26名が参加しました。これは、明和小が防災教育の推進校として県の指定を受けたことによるもので、これまで自然豊かな町の自然災害や防災・減災について地域と連携して学んできました。

県内の小中学校7校が集まったフォーラムでは、明和小の代表として6年の菊地結雅くんが「自然が豊かだということと同時に自然災害も多いということ。自然と人間がうまく共生できるといえるような防災、減災を考えていきたい」と発表しました。

各企業を視察し連携深める  
第2回誘致企業雇用対策意見交換会

各企業を視察し連携深める



▲ティエヌアイ工業(株)只見工場を視察する参加者の皆さん

11月17日、町内誘致企業を対象とした「第2回誘致企業雇用対策意見交換会」が開かれ、町内誘致企業4社（(株)会津工場、ティーエヌアイ工業(株)只見工場、ヒロタテクノ(株)、(株)スマタフトニクス只見工場）と県・町の関係者が参加しました。今回は、8月2日の会議の中で意見が出された「企業間連携」をテーマに、各企業の視察や意見交換会などを行いました。

視察では、参加企業の工場をそれぞれ訪問し、製造ラインなどの確認を行いました。また、意見交換会では今回の視察を踏まえ、更なる連携について協議しました。

朝日小学校で教育研究を深める  
第3回ESD公開授業研究会

朝日小学校で教育研究を深める



▲只見の農産物や地産物を使った創作料理を考えた5年生の公開授業

11月22日、朝日小学校が主催する「第3回ESD公開授業研究会」が同校で開催され、町内外から教育関係者が参加しました。この研究会は、ユネスコスクール認定4年目を迎えた同校が実践している「只見愛の教育（ESD）」の取り組みを公開し、多くの教育関係者と教育活動について研究を深めるものです。

研究会では、児童の主體的な学びと教師の「ひとり（児童の表現を洞察し主体性を支えること）」の質を高め、コーディネートすることが重要とされ、公開授業・分科会・講演会が行われました。

## 上手にかわいく名演技！ 3地区の保育所でおゆうぎかい

11月、町内3地区の保育所で「おゆうぎかい」が行われ、多くの保護者が参観しました。おゆうぎ会では、つくし組(1、2歳児)からさくら組までの全児童が、これまで練習を重ねてきた「劇」や「ゆうぎ」などを披露し、その可愛らしい姿や名演技に会場から大きな拍手が送られました。

また、今年小学校に入学した新1年生も会場を訪れ、歌や演奏などで成長した姿を披露しました。



(11月22日)只見保育所・さくら組「劇」



(11月16日)朝日保育所・さくら組「ゆうぎ」



(11月17日)明和保育所・さくら組「ゆうぎ」

## 「ねっか奥会津蒸留所」で開催！ お笑いコンビ「母心」さんのお笑いライブ

11月11日、お笑いコンビ「母心」のお笑いツアー「59市町村ありがとない！」が合同会社ねっか奥会津蒸留所で開催され、町民など約100名が来場しました。これは、コンビ結成10周年を迎えた「母心」さんが、福島に感謝を込めて県内全市町村を巡るという企画で行われました。ライブでは、ご当地漫才や歌舞伎コントなどが披露され、会場は大きな笑いに包まれました。



▲満席となった会場で多彩なネタを披露する「母心」さん

## 南会津4町村合同で観光PRイベント 第7回まるごと南会津観光PRフェア

11月18～19日の2日間、南会津4町村合同で開催する「第7回まるごと南会津観光PRフェア」が東京の上野恩賜公園で開かれ、多くの来場者で賑わいました。只見町からはヤマサ商店、マトンケバブカフェ、(一社)只見町観光まちづくり協会の方々が参加し、そばやきもちやマトンケバブなど特産品の販売が行われたほか、町の観光PRが行われ、多くの来場者に只見町の情報を発信しました。



▲開会セレモニーで挨拶を述べる橋本副町長

## 実りの秋を祝い地域の交流を図る 「第2回只見地区JAまつり」

10月29日、「第2回JA会津よつば只見地区JAまつり」が同会場で開催され、多くの来場者で賑わいました。開会式では、長谷川正市代表理事専務が挨拶され、続いて農林産物品評会の表彰が行われました。橋本副町長が祝辞を述べ、関係者による縄カットでオープンしました。会場では展示即売や青空市場などが開催されたほか、もちつき大会など様々な催しが行われ、収穫を喜び地域との交流を図りました。



▲開会式後、多くの来場者の前で「紅白餅まき」を行う関係者の皆さん

## 只見産米のおいしさを測る 「食味分析計」で米の食味鑑定

米のおいしさを測って数値化する計測機「食味分析計」を10月25日～11月1日まで役場農林振興課内に設置し、町内の米農家の方々などが本年産米の食味値を確認しました。

この計測機は、米・食味鑑定士協会が主催する国際大会「全国米・食味分析鑑定コンクール」でも使用される高性能な機械で、試験的に設置したものです。設置期間中は多くの利用者があり、食味値を確認されていました。



▲機械に乾燥玄米500gを入れ、約20秒後には結果が分かる「食味分析計」

## 香り豊かな新そばを堪能 「只見新そばまつり」開催！

11月11日、季の郷湯ら里が主催する「第25回只見新そばまつり」が同施設で開かれ、町内外から約150名が参加しました。

会場では、“新そば”の冷たい盛りそばや温かい田舎そばが味わえたほか、茶碗蒸しや野菜の天ぷらなども提供されました。いわき市からお越しの参加者は「毎年楽しみに参加しています。今年の新そばも香りが良く美味しいです」と笑顔で話され、新そばを堪能していました。



▲新そばを味わういわき市からお越しの参加者

## 華麗な舞や美しい歌声などを披露！ 町文化協会「第22回芸能発表会」

11月12日、文化祭事業の一環で町文化協会主催の「第22回芸能発表会」が季の郷湯ら里で開かれ、多くの方が来場しました。

ステージでは、文化協会に加盟する9団体による華やかな舞踊や美しい歌声、迫力のある演奏など30演目が披露されました。

「コーラスはなみずき」の皆さんは、六角精児バンドの曲「只見線のうた」を披露し、来場者とともに歌い上げました。



▲来場者とともに「只見線のうた」を披露するコーラスはなみずきの皆さん

# 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



## 「インフルエンザ+風邪の予防」

皆さんこんにちは！今年例年より寒い気がしますね。さて、前回の広報ただみでは、インフルエンザワクチンの製造が全国的に遅れていることをお伝えさせていただきました。ご迷惑をおかけしておりますが、12月半ばを過ぎて診療所に届くワクチンもありますので、ご希望の方はご予約をお願いいたします。

今回もインフルエンザ+風邪に関するお役立ち情報をお伝えします。今回のテーマは「予防」です。現在の医学界で予防効果があると考えられているものと、逆に予防効果がないと示されているものを下の表に示します。風邪のウイルスは感染者の鼻水や咳などを介して体内に侵入してきますので、うがいや手洗いによって鼻水や咳などのしぶきを洗い流すことで感染を

防ぐことが出来ます。また、アルコールはウイルスの消毒効果が高いのでさらに有効です。ヨーグルト摂取に代表される整腸剤の摂取（善玉菌の摂取）もお勧めです。整腸剤は胃腸炎などに用いられることが一般的ですが、文献によっては日々の摂取により風邪に対して40%近い予防効果があるとされ、小さなお子様ほど効果が高いようです。医療機関では予防のための整腸剤処方残念ながらできませんので、市販のものをご利用ください。予防効果のないものにビタミン摂取（ビタミンC含む）、ミネラル摂取、抗菌効果を謳う製品の利用があります。

インフルエンザに最も有効なのはワクチン接種ですので、まだ受けていないという方はぜひ診療所までお問い合わせください。

予防効果がある	予防効果がない
<ul style="list-style-type: none"><li>・うがい（水で3回／日以上）</li><li>・手洗い</li><li>・手指消毒（アルコール）</li><li>・整腸剤（乳酸菌などに代表される善玉菌の摂取）</li><li>・運動習慣</li><li>・他者への感染予防/マスク</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マルチビタミン（Cなど）</li><li>・多くのミネラル類</li><li>・抗菌効果を謳う製品の使用</li></ul>

## 地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊 vol.37

松本 貴芳



### 「“安心”できる町」

ちょっと前に、ある家族から注意を受けた男性が逆上し、その家族が乗るワゴン車を追いかけた挙句、高速道路上で停車させ、結果的に後方から来たトラックにその家族の命が奪われるという酷い事件が起きました。こんなニュースを見ると改めて、「知らない人とは極力関わらない方がいい」と思ってしまう。

都市部で生まれ育った私は、幼い頃から“それ”が当たり前でした。ですので、むやみに人に話しかけなかったですし、知らない人に話しかけられたら、まず警戒していました。都市部には身の回りにたくさんの人がいたとしても、その一人ひとりに大きな壁があるような感覚がありま

す。一方で、この只見町は違います。これはある日に見かけた光景です。車の前輪が側溝に落ちてしまい、困っていた人達がいました。すると、あれよあれよという間に人が集まってきて、救出作戦が実行されました。僕はこの時、「もしここが都市部だったら、JAF以外誰も助けてくれないよなあ」と思いながらその光景を見ていました。只見町には、たくさんの人はいませんが、一人ひとりが近い距離にいます。だから、人間の“体温”を感じながら生活することが出来ます。僕自身これはすごく大事なことだと思っています。

都市部に勝る利便性はありませんが、都市部に勝る“安心”が、只見にはあると思います。

### ただみ水田雑草考②

#### 只見町でよくみられる水田雑草

只見町にはおよそ五〇〇ha（町面積の〇・七％）の田んぼがありますが、それらは只見川や伊南川の形成した狭い谷底平野および河岸段丘に散在しています。

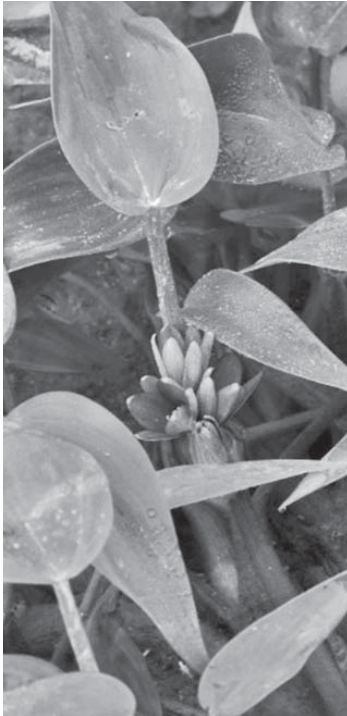
二〇一二年から二〇一四年までの水田調査では、休耕田も含めておよそ七〇種類の植物が確認されました。その中から、おもに湿地に生えるものを除くと、狭い意味での水田雑草はおよそ五〇種類になります。出現頻度の高かったものはイヌビエ（タイヌビエを含む）、コナギ、オモダカ、タケトアゼナ、タイワンヤマイ、イボクサ、ハリイ、アメリカセンダングサなどでした。いずれも、からだの大部分が大気中にあり茎の下部や根だけ水中にある抽水・湿生植物であり、葉だけ水面に浮かべる浮

葉植物やからだ全体を水面下に沈めて生活する沈水植物はまったくみられません。そのような生活様式を持つ植物は、除草剤の影響を受けやすいために近年になって姿を消したものと推定されます。

イヌビエやタイヌビエは水田雑草として昔からよく知られており、栽培種のエヒと区別してノビエともよばれています。イネの刈り取り前に実を落とすだけなく、たとえ自らが刈り取

られても根元付近からさらに穂を出すことができます。このような性質が、地域を問わず本種の出現頻度を高めている理由のひとつなのですが、これは刈り取り除草に対する適応と考えられます。コナギは生長するにしがたい葉を線形から披針形、さらに心臟形へと変化させ青紫の鮮やかな花をつけますが、肥料分を奪う力が強くイネの収量に大きな影響を与える植物で、只見町では「オトゲナシ」とよば

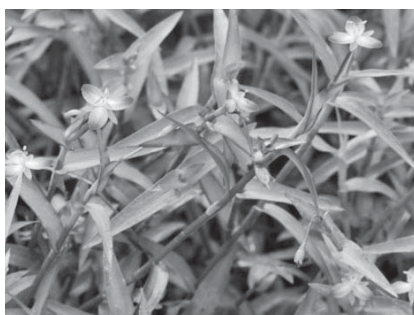
られています。オモダカ（ホソバオモダカ）も幼葉は線形で、そのあと披針形、矢尻形へと変化した白色の花をつけますが、このような一世代にあらわれる葉形の変化は、これらの植物の進化の過程を示すものと考えられています。只見町では「クワノエ」とよぶ地区もあるようです。イボクサは休耕田に多く、畦ぎわから茎を這わせ淡い紅紫色の花をつけて旺盛に増えていきます。タイワンヤマイは県内では只見町における出現頻度が高いつも高い植物、タケトアゼナやアメリカセンダングサは帰化植物です。ハリイは只見川流域ではよくみられますが、伊南川流



▲コナギ(2012年9月、蒲生)



▲ホソバオモダカ(2012年9月、蒲生)



▲イボクサ(2012年9月、蒲生)

域では比較的少ないようです。水田雑草の中ではやや貧栄養的な立地を好みますから、本種の偏在分布は、山林が直近に迫りやや急な傾斜を有する只見川流域の水田環境と関係があるように思われます。



# 町民文芸

## 只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

娘の遺影に残せし子等を守りくれと我が及ばざるを朝々祈る

馬場 八智

翳りゆく道を辿れば日溜りの落葉に残る温もり立てり

小倉キミ子

疑がはれし病気の検査異常なく気も晴れやかに買い物気張る

渡部ゆき子

よろめけば「にしは駄目だ」と言ふ義母は間置かず我に抱っこ促す

目黒 富子

紅葉せる大きな木の元いとしるく季節はづれの紫陽花の咲く

新国由紀子

ひ孫らの「じいちゃんガンバ」の応援に返す球にもカミなぎる

飯島小百合

老人会の人等と共に紅葉の峠越へゆく車中賑はふ

関谷登美子

母逝きしその歳越へて忙しく悔いなき日々を我は生きをり

渡部ヨリ子

桜の葉紅く色づく苑の庭初秋の雨のけぶりつつ降る

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

身に入むや湖底に木株白々と

礼

湖一円岩肌渇く寒さかな

一穂

新米の餅の自慢や九日祭  
採るものもみな取り込んで雪起し

洋子

修一

雲行きを窺い急ぐ豆叩き  
軒先や妻の干したる落花生

敦子

雪の日や野猿の群れのぞろぞろと  
初雪や南天の実の艶やかに

吉児

待ちに待つボジョレヌーボ解禁日  
炬達して胡座に遊ぶ初曾孫

さればとてなすこともなく秋惜しむ  
枯葉踏むスニーカーの音万歩計

信

朝練のヒタヒタと行く息白し  
たとえばの話をして紅葉散る

都

新米を詰める弁当ばんばんに  
野菜取るざる山盛りに台風来

恒夫

前山の柞まだらに冬はじめ  
立冬や今日を賜わり朝のもや



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課	
農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課	
地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

12月25日までに  
納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)

## 募集

### 平成30年度 保育所入所児童募集

町では平成30年度の保育所入所児童を次のとおり募集します。

#### ●対象児童

平成30年4月1日現在で満1歳以上の児童で、保護者の就労などにより保育を必要とする児童

#### ●募集定員

- ・只見保育所 60名
- ・朝日保育所 60名
- ・明和保育所 60名

#### ●申込み受付期間

平成29年12月1日(金)～  
12月28日(木)まで

#### ●受付場所

- ・只見保育所 (☎82-2219)
- ・朝日保育所 (☎84-2038)
- ・明和保育所

#### ●役場窓口

- (☎82-5100)
- 保健福祉センター (☎84-7010)
- 朝日振興センター (☎84-2111)
- 明和振興センター (☎86-2111)

#### ●申込書類(受付場所に有)

- ・支給認定申請書兼保育所入所申込書(新規の場合)
- ・支給認定現況届兼継続入所申込書(継続の場合)
- ・就労証明書(勤められている方)
- ・保育を必要とする事由の証明書(勤められている方以外)

▽年度途中からの入所を希望する場合も、今回お申込みください。

▽入所の承諾は、2月中旬に文書で通知します。

▽定員以上の申込みがあった場合は、選考基準によって選考します。

ます。

#### ●問合せ先 保健福祉課福祉係

☎0241(84)7010

#### ●農業者をめざす 奨学生を募集します

町では、将来只見町で農業に従事するために、次の学校に在学する者に対し、その修学に必要な資金の一部を貸与する制度があります。希望される方は、農林振興課農政係までお問い合わせください。

#### ●対象者

福島県農業総合センター農業短期大学校、公益財団法人農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校に在学している方。

▽進学予定者も受け付けます。

▽国または他の団体から同種の奨学資金の貸与等を受けていないことが条件となります。

#### ●貸与額

月額 10万円以内

#### ●返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業後に農業に従事しない場合は返還義務が生じます。ただし、卒業後直ちに町内において農業に従事し、その後10年以上農業に従事した場合は返還が免除されます。

#### ●申請方法

奨学資金貸与申請書及び奨学生願書に、住民票、履歴書、健康診断書並びに申請者が在学する学校長が発行した入学以後の学業成績表、学業・人物に対する所見を記載した推薦書を添付し、農林振興課に提出してください。

#### ●募集期限

平成30年2月19日(月)必着

#### ●問合せ先

農林振興課農政係  
☎0241(82)5230

勤労者退職金共済機構より  
林退共退職金請求のお知らせ

以前、林業の仕事に従事されたことがあり、その当時、林業退職金共済制度(林退共)に加入していた、もしくは加入していたかもしれない方で、退職金請求手続きをしたことにお心当たりのない方は、退職金をまだ受け取っていない可能性があります。林業の仕事をしてきた当時の加入の有無についても当方で確認を行いますので、お気軽に最寄りの支部または本部へお問い合わせください。ようお願いいたします。

#### ●問合せ先

(独)勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部  
☎03(6731)2887

## CM大賞2017に只見町が参加!

11月26日、KFB福島放送が主催の各市町村のオリジナルCMを審査するテレビ番組「ふくしまの元気!応援CM大賞2017」の公開収録が郡山市内で行われ、只見町が参加しました。今年は、「会いたい人に、会いに行こう。自然首都・只見」と題したCM作品で、山村教育留学生を経て現在只見町役場で働く女性を主人公に、JR只見線などが人と人をつなぐというコンセプトで制作しました。審査の結果、残念ながら今年は入賞(昨年は審査員特別賞)できませんでしたが、CMを通じた町のPRなどを行いました。今回の番組の様子は、12月23日(土)午後2時45分からKFBで放送される予定です。



▲ステージ上でPRする橋本副町長やCMを作成した町観光まちづくり協会の酒井事務局長など

## 只見町教育振興基本計画 検討委員会を開催

10月27日、第3回只見町教育振興基本計画検討委員会が開催され、前回に引き続き学校教育と生涯学習の分野で、熱心な話し合いが行われました。参加者の意見や提言が反映された基本計画を目指し、今後も検討を進めていきます。



▲熱心な話し合いが行われた検討委員会



ゆま  
酒井 優真くん  
(館ノ川)

虫歯の  
ない子



(11月7日  
3歳児健診)

## 町長スケジュール

(11月分)

- |  |  |
|--|--|
| 1日 福島県猟友会南会津支部定期総会   | 17日 誘致企業意見交換会  |
| 3日 只見町文化祭開館式   | 20日 地方自治法施行70周年記念式典(東京都)                                 |
| 4日 只見町文化講演会  | 21日 只見町議会11月会議、<br>只見町総合教育会議、<br>12月補正予算町長査定             |
| 5日 南会津地方環境衛生組合職員採用候補者面接審査(下郷町)   | 22日 (株)季の郷湯ら里臨時株主総会及び取締役会                                |
| 6日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、<br>南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会、<br>南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会(南会津町) | 24日 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会による福島県要望(福島市)                      |
| 7日 定例庁議  | 25日 只見おもしろ学推進町民大会  |
| 8日 南会津地方環境衛生組合議会行政視察研修<br>(~9日 群馬県、長野県)                                    | 26日 只見線活性化シンポジウム(魚沼市)                                    |
| 11日 只見新そばまつり   | 27日 ダム・発電関係市町村全国協議会理事会、<br>ダム・発電関係市町村等振興議員連盟との合同勉強会(東京都) |
| 12日 只見町文化協会芸能発表会   | 28日 全国治水砂防促進大会及び要望活動(東京都)                                |
| 14日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会(東京都)  | 29日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、<br>全国町村長大会(東京都)                   |
| 15日 市町村長向け災害対策専門研修「トップフォーラムin福島」(福島市)                                      | 30日 教育長退任式   |



# 町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

中野 晴二郎 (男/陽介・智子) 只見

## ■おくやみ申し上げます

渡部 和雄	79歳	只見	見岩
五十嵐 利夫	71歳	寄岩	岩谷
守山 知彦	86歳	黒谷	林
山内 平八	91歳	小倉	倉
角田 美津子	95歳	大館	川
渡部 志津子	84歳	小館	林
梁取 良之助	91歳	小長	浜
佐藤 ミネ	90歳	長浜	浜
五十嵐 源一郎	82歳	長浜	浜
吉津 英喜	93歳	長浜	浜
吉津 国喜	78歳	長浜	浜
黒田 敬一	53歳	只見	見
菊地 利夫	82歳	長浜	浜
五十嵐 コシ	90歳	福井	井

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成29年11月1日現在

人口	4,325 (+3)
男	2,124 (-3)
女	2,201 (+6)
世帯数	1,866 (+1)
高齢化率	45.09%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 13 転出 5 出生 3 死亡 8

## あとがき

▽あつという間に12月となり、今年も残すところあと僅かとなりました。今年も多く現場を取材させていただきました。ご協力をいただきました皆さまには大変感謝しております。

▽今年を振り返ると、7月に新潟・福島豪雨を思わせるような激しい雨が降り、大きな被害を受けました。しかし、JR只見線不通区間の復旧決定や国道289号「八十里越」の開通を2023年に目指すとした報道など、明るい話題も多くあったと感じます。

▽来年も、多くの情報を皆さまに届けられるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

(三瓶)

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

生涯学習推進員  
三瓶美由紀

朝日振興センター  
図書室 ☎84-2111

# おすすめ新着図書

## ★さよなら、田中さん



鈴木るりか/著(小学館)

田中花実は小学6年生。ピンボケな母子家庭だけれど、底抜けに明るくたくましいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きている。この母娘を中心とした日常の事件を時に可笑しく、時にはホロッと泣かせる筆致で鮮やかに描ききる。「12歳の文学賞」史上初3年連続大賞受賞。5編からなる連作短編集。圧倒的小説デビュー作。

## ★いらないねこ



ヒグチユウコ/著(白泉社)

大人気絵本『せかいいちのねこ』に続く、ぬいぐるみのニャンコの新作絵本がついに登場。捨てられた子猫を「おとうさん」になって愛情いっぱい育てるニャンコとあたたかく見守る優しい猫たちの感動の物語。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば ぜひ、リクエストしてください。

## ジョウビタキ (学名: *Phoenicurus aureus*)

[スズメ目 ヒタキ科]



▲ジョウビタキのオス



▲ジョウビタキのメス

冬になると庭に現れるオレンジ色のこの鳥に見覚えのある方も多いのではないのでしょうか。これは、ジョウビタキという鳥です。夏の間は中国東北部などで繁殖し、日本には冬にやってくる冬鳥で、只見町でも普通に見られます。オスとメスとで羽色が大きく異なり、オレンジ色が目立つのがオスで、メスは腰のあたりに淡いオレンジ色が見られる程度です。翼の真ん中の白斑は共通した特徴です。

ジョウビタキは、低木林や農耕地、川岸、庭などの開けた環境を好み、オスもメスもそれぞれ1羽で縄張りを持って、冬を過ごします。そのため、一度庭先に定着するといつも同じ場所で見ることができます。特定の低木に好んで止り、尾を振るわせたり、お辞儀のように頭を下げる仕草をするなど特徴的な動きをします。また、「ヒッ」「ヒッ」と高い声で鳴きます。これは自分の縄張りであることを周りのジョウビタキに宣言する鳴き方です。縄張りの意識が強く、窓や鏡に映る自分に攻撃を仕掛けているのをよく目にします。車のサイドミラーが標的となることも多く、フンだらけにされてしまう場合もあります。只見町では、10月下旬から12月にかけてよく目にしますが、積雪量が多くなってくるといつの間にか姿を消しており、春の渡り前に再び見るようになります。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

企画展示

「守りたい！只見の野生動植物

－只見町の野生動植物を保護する条例」

期 間:2017年12月9日(土)～2018年6月25日(月)

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー